

東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森2013-
SPRING FESTIVAL IN TOKYO TOKYO OPERA NOMORI 2013

東京
春祭
TOKYO OPERA NOMORI

ワーグナーを「聴く」 ニュルンベルクの マイスタージンガー

Tokyo-HARUSAI Wagner Series vol.4 "Die Meistersinger von Nürnberg" (Concert Style / With projected images and subtitles onscreen)

Die Meistersinger von Nürnberg

[演奏会形式・字幕映像付]

全3幕／ドイツ語上演

上演時間：約5時間30分(休憩2回含む)

ハンズ・ザックス：アラン・ヘルド

Hans Sachs: Alan Held

ボークナー/夜警：ギュンター・グロイスベック

Veit Pogner/Ein Nachtwächter: Günther Groissböck

ベックメッサー：アドリアン・エレート

Sixtus Beckmesser: Arian Eröd

ヴァルター：クラウス・フロリアン・フォークト

Walther von Stolzing: Klaus Florian Vogt

ダヴィット：ヨルグ・シュナイター

David: Jörg Schneider

エファ：ガル・ジェイムズ

Eva: Gal James

マグダレーネ：ミハエラ・ゼリンガー

Magdalene: Michaela Selinger

コートナー：甲斐栄次郎

Fritz Kothner: Eijiro Kai

フォーゲルゲザング：木下紀章

Kunz Vogelgesang: Noriaki Kinoshita

ツォルン：大槻孝志

Balthasar Zorn: Takashi Otsuki

モーザー：片寄純也

Augustin Moser: Junya Katayose

シュヴァルツ：畠山 茂

Hans Schwarz: Shigeru Hatakeyama

ナハティガル：山下浩司

Konrad Nachtigall: Koji Yamashita

アイスリンガー：土崎 讓

Ulrich Eißlinger: Joe Tsuchizaki

オルテル：大井哲也

Hermann Ortel: Tetsuya Oi

フォルツ：狩野賢一

Hans Foltz: Ken-ichi Kanou

指揮：セバスティアン・ヴァイグレ

Conductor: Sebastian Weigle

管弦楽：NHK交響楽団

Orchestra: NHK Symphony Orchestra, Tokyo

合唱：東京オペラシンガーズ

Chorus: Tokyo Opera Singers

合唱指揮：トーマス・ラング、宮松重紀

Chorus Master: Tomas Lang, Shigeki Miyamatsu

音楽コーチ：イェンドリック・シュプリンガー

Musical Preparation: Jendrik Springer

【主催】東京・春・音楽祭実行委員会 【後援】日本ワーグナー協会

ワーグナー
生誕200年
1813-1883

4/4 15:00 [木] 4/7 15:00 [日] 東京文化会館 大ホール
April 4 (Thu) 15:00 / April 7 (Sun) 15:00 Tokyo Bunka Kaikan Main Hall

■料金 S ¥20,000 A ¥16,000 B ¥12,000 C ¥9,000 D ¥6,000 E ¥3,000 U-25 ¥2,000 ※U-25チケットは東京春祭オンライン・チケットサービスのみで取扱い

チケット発売：2012年11月18日(日) 10:00



セバスティアン・ヴァイグレ (指揮)
Sebastian Weigle (Conductor)

ハンス・アイスラー音楽大学でホルン、ピアノ、指揮を学び、1982年にベルリン国立歌劇場管弦楽団の首席ホルン奏者になる。87年ベルリン室内合唱団を設立し、新ベルリン室内管弦楽団でも芸術監督を務める。93年ブレンデンブルク・ユンゲ・フィルハーモニックの首席指揮者。97～2002年までベルリン国立歌劇場管弦楽団のカベルマイスター。02/03年のシーズンにフランクフルト歌劇場にデビューし、08/09年のシーズン開幕期とともに同歌劇場の音楽総監督に就任。04～09年バルセロナ・リセウ大劇場の音楽総監督。07年《ニュルンベルクのマイスタージンガー》の新演出を指揮してバイロイト音楽祭にデビューし、11年まで同作を指揮。

© Monika Kretschmar



アラン・ヘルド (バス・バリトン) ハンス・ザックス
Alan Held (Bass Baritone) Hans Sachs

世界的な注目を集めているアメリカ人のバス・バリトン歌手。ミシガン大学とウィチタ州立大学で音楽を学ぶ。メトロポリタン歌劇場やウィーン国立歌劇場といった世界の権威に多数登場し、コンサートでも著名指揮者と共演。ビルギット・ニルソンの賞を始め、数々の賞を受賞。イェール大学で後進の指導にもあたっている。

© Christian Simeur



グンター・グロイスベック (バス) ポークナー/夜警
Günther Groissböck (Bass) Veit Pogner/Ein Nachtwächter

ウィーン音楽アカデミー卒業。ウィーン国立歌劇場やチューリヒ歌劇場の合唱団のメンバーを務める。その後、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座等、欧州の主要な歌劇場に出演。2011年《タンホイザー》の領主ヘルマン役にバイロイト音楽祭にデビューし、13年も出演予定。

© Michael Schindler



アドリアン・エレート (バリトン) ベックメッサー
Adrian Eröd (Baritone) Sixtus Beckmesser

ウィーン国立音楽大学でヴァルター・ベリーに師事。ウィーン室内歌劇場、リンツ州立劇場、ウィーン・フォルクスオーパーを経て、2001年ウィーン国立歌劇場にデビュー。欧州の主要歌劇場、コンサート、リサイタルに多数出演。バイロイト音楽祭でも《ニュルンベルクのマイスタージンガー》のベックメッサー役を歌い、好評を博す。



クラウス・フロリアン・フォークト (テノール) ヴァルター
Klaus Florian Vogt (Tenor) Walther von Stolzing

ハノーファーとハンブルクの音楽学校でホルンを学び、ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団の第1ホルン奏者としてスタート。オーケストラと並行して、リュウベック音楽大学で音楽を学ぶ。ドレスデン国立歌劇場等を経て、現在は欧米の主要な舞台上で活躍を続ける。2007年バイロイト音楽祭にデビューし、継続的に出演中。

© www.kflor.com



ヨルグ・シュナイダー (テノール) ダフィット
Jörg Schneider (Tenor) David

オーストリア出身のテノール歌手。ウィーン少年合唱団で音楽の勉強を始める。ヘッセン州立劇場やライン・ドイツ・オペラのアンサンブルメンバーとして研鑽を積む。近年はミラノ・スカラ座、ベルリン・ドイツ・オペラ、ドレスデン国立歌劇場等に客演。2007年からウィーン・フォルクスオーパーのメンバーとして活躍。



ガル・ジェイムズ (ソプラノ) エファ
Gal James (Soprano) Eva

近年、高い評価を受けているイスラエルのソプラノ歌手。エルサレムのルーベン音楽院付属高校でチェロを学び、その後、音楽を学ぶ。国際的なコンクールに多数受賞。ベルリン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、グラーツ歌劇場他に出演する一方、コンサートでは、ダニエル・バレンボイム、小澤征爾、ネーメ・ヤルヴィらと共演。



ミハエラ・ゼリンガー (メゾ・ソプラノ) マグダレーネ
Michaela Selinger (Mezzo Soprano) Magdalene

リンツ音楽院卒業。ウィーンとバーゼルで音楽を学び、2005年にイオアン・ホーランドの招きでウィーン国立歌劇場と契約。以来、同歌劇場の専属歌手としてメゾ・ソプラノの大役を多数演じる。欧州の主要歌劇場に登場し、昨年のグラインドボーン音楽祭でも《ニュルンベルクのマイスタージンガー》のマグダレーネ役を好演した。



甲斐栄次郎 (バリトン) コートナー
Eijiro Kai (Baritone) Fritz Kothner

東京藝術大学大学院修了。ニューヨークとボローニャで研鑽を積み、2003年ウィーン国立歌劇場にデビュー。同劇場の専属ソリストとして40役で300以上の舞台上に出演。国内では二期会50周年《フィガロの結婚》タイトルロール、新国立劇場《蝶々夫人》シャープレス他、出演多数。《第九》等のソリストとしても活躍中。

木下紀章 (テノール) フォーゲルゲザング
Noriaki Kinoshita (Tenor) Kunz Vogelgesang

山下浩司 (バス・バリトン) ナハティガル
Koji Yamashita (Bass Baritone) Konrad Nachtigall

大槻孝志 (テノール) ツオルン
Takashi Otsuki (Tenor) Balthasar Zorn

土崎 譲 (テノール) アイスリンガー
Joe Tsuchizaki (Tenor) Ulrich Eißlinger

片寄純也 (テノール) モーザー
Junya Katayose (Tenor) Augustin Moser

大井哲也 (バリトン) オルテル
Tetsuya Oi (Baritone) Hermann Ortel

島山 茂 (バス・バリトン) シュヴァルト
Shigeru Hatakeyama (Bass Baritone) Hans Schwarz

狩野賢一 (バス・バリトン) フォルト
Ken-ichi Kanou (Bass Baritone) Hans Foltz

NHK交響楽団 (管弦楽)
NHK Symphony Orchestra, Tokyo (Orchestra)

東京オペラシンガーズ (合唱)
Tokyo Opera Singers (Chorus)

トーマス・ラング、宮松重紀 (合唱指揮)
Thomas Lang, Shigeki Miyamatsu (Chorus Master)

イエンドリック・シュプリングァー (音楽コーチ)
Jendrik Springer (Musical Preparation)

2014年からは《ニーベルングの指環》を上演!
東京春祭ワグナー・シリーズ

2014年より「ニーベルングの指環」4作品を毎年順次上演します。ベルリン放送交響楽団の芸術監督を務め、ワグナー指揮者としても称賛を受けるマレク・ヤノフスキが指揮を務め、神々が織りなす壮大な物語を紡ぎます。

2014年 《ラインの黄金》
2015年 《ワルキューレ》
2016年 《ジークフリート》
2017年 《神々の黄昏》



東京・春・音楽祭 - 東京のオペラの森2013 -
3.15 Fri. - 4.14 Sun.

東京の春の訪れを、音楽を媒介としたお祭りで祝う——
明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野公園を舞台に、桜の美しい時期に1か月にわたり開催する音楽祭です。東京文化会館での「ワグナー・シリーズ」や、国内外の一流アーティストによる公演をはじめ、美術館・博物館を会場とした「ミュージアム・コンサート」、無料の小さなコンサート「桜の街の音楽会」など、約100公演を開催いたします。桜が咲きほころぶ春のひとときに、上野のあらゆる場所から、色とりどりの音楽が聴こえてくる——そんな「東京・春・音楽祭 - 東京のオペラの森2013 -」が東京・上野の春を美しく彩ります。

春が訪れ
桜がひらいて
音楽が始まる
上野の森に

チケットのお申込み

発売: 2012年11月18日(日) 10:00

東京春祭オンライン・チケットサービス

<http://www.tokyo-harusai.com/>

(座席選択可)

公式HPだからこそ
嬉しいサービス
たくさん!



チケットをメールで受信、またはご自宅で印刷。コンビニでチケットを受け取る手間を省き、さらに手数料もちょっとお得です。



3名でご来場の場合、チケット代を5%割引 ※席種限定・同日1公演につき、同席種を3枚購入の場合のみ。

※東京春祭オンライン・チケットサービスのご利用はご登録が必要です(無料)。公式ホームページ内「チケット」ページにて、詳細をご確認ください。※「チケットレスQ」「トリオ・チケット」は対象席種限定のサービスです。※車椅子席、団体でのご鑑賞等詳しくは下記までお問合せください。※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ぬ事情により、内容に変更が生じる可能性があります。出演者・曲目変更による払戻しはいたしませんので、あらかじめご了承ください。

公演に関するお問合せ **東京・春・音楽祭実行委員会 03-3296-0600**



お電話でのお申込みは
03-5685-0650

東京文化会館チケットサービス
会館内チケット売場でも購入できます

その他プレイガイド
チケットぴあ <http://pia.jp/t/harusai/>
0570-02-9999 (音声自動応答)
②597-880

ローソンチケット <http://l-tike.com/>
0570-000-407 (オペレーター)
0570-084-003 (音声自動応答)
①34276

e+ (イープラス) <http://eplus.jp/harusai/>